

組回覧

【令和7年8月12日】



日野町青少年育成町民会議会報 第64号 (令和7年8月)

発行者 日野町青少年育成町民会議

会長 安藤 宜保

(日野町教育委員会事務局 生涯学習課内)

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎ 0748-52-6566

✉ kik-syogai@town.shiga-hino.lg.jp

「令和7年度 日野町青少年育成町民会議 総会」を開催しました

令和7年5月30日(金)に日野公民館ホールにて、令和7年度日野町青少年育成町民会議 総会を開催しました。

堀江日野町長、野矢日野町議会副議長、山本東近江警察署長に来賓としてご出席いただき、その他構成団体など67名の方に参加いただきました。

今年度も生活の基本であるあいさつや、子どもたちへの声かけを推進することを皆さんに確認いただきました。

地域みんなであいさつ運動の輪を広げましょう。



■研修会を開催しました■

「子ども・若者のすこやかな育ちを支える大人をめざして」



総会に続いて、社会福祉士 長橋 満見子氏を講師にお迎えし、研修会を開催しました。講演の一部をご紹介します。

【子どもたちと不登校】

不登校の大きな要因は無気力、不安、学力不振などがあるが、決して家庭や学校だけの問題ではない。

コミュニケーションが苦手で、傷つきやすい子どもが増加している。

不登校の一番の問題は、子どもや親が「孤立」すること。

【ヤングケアラー】

家族の介護などを過度に行う若者をいう。「家族のケアは、家族で行うもの」という認識が強い。

家族の中だけに役割や自分の存在意義を見出してしまうと、学校に行きづらくなり孤立しやすい。

【地域からの声かけを】

将来の町を支えるのは、子どもたち。子どもを守るには、まずその家族を守ること。

地域には、何とかしてあげたい、助けてあげたいというエネルギーがあふれている。

勇気がいるが、大人から「どないしたんや」と声をかけることが何よりも大切。



大人が変われば 子どもは変わる

子どもが変われば 未来が変わる

～あいさつ・声かけでつなぎ育む温かい町 日野町～



■お知らせ■ 届け私たちの思い ひのっこ大会 ～ 日野町青少年意見発表大会 ～

【日程、場所】 令和7年11月24日(月・祝) わたむきホール虹大ホール

日野町の未来を担う子どもたちが、一生懸命発表します。お誘いあわせの上、ぜひお越しください!

ラジオ体操 しよう!



小学校ラジオ体操講習

「ラジオ体操」推進運動に取り組んでいます。

夏休みを前に、子どもたちが正しいラジオ体操を学ぶことを目的として、全国ラジオ体操連盟公認1級ラジオ体操指導士の山本いづみさんに小学校にて正しいラジオ体操をご指導いただきました。

小学生のみんな！先生に習ったことを思い出して、元気にラジオ体操をしましょう！



フレンドマート日野店において 街頭啓発活動を実施しました



例年、7月の「青少年の被害・非行防止滋賀県強調月間」に合わせて街頭啓発活動を行っています。

7月11日（金）には、構成団体の皆さまや東近江警察署、日野高校生の方々と一緒に啓発グッズを配布する、街頭啓発活動を実施しました。

地域の方々が子どもを見守る、温かい町にしていきたいでしょう。

気持ちよく暮らすための“あいことば”

ひのっこ宣言

今年の3月に誕生した【ひのっこ宣言】を知っていますか？

数値では測れない「生きる力（非認知能力）」を育もうと、日野町の大人と子どもたちが話し合いを重ねて作りあげました。「ひのっこ」とは、こどもだけでなく大人も含む【日野町のみなさん】のことで、6つの宣言文の中から、2つずつご紹介します。（次号に続きます）

あいさつで つながる心 いい笑顔



あいさつは社会生活の基本であると同時に、人と人との心つながる第一歩です。こどもも大人も誰もが率先して笑顔いっぱい、愛情たっぷりの毎日をめざしたいです。

きいてみよう 自分のきもちと相手のおもい

自分の素直な気持ちを言葉にできるかな？相手の思いはどうだったかな？話す前にまずはどちらも「きく」という、寄り添う心を育みましょう。



＼ ひのっこが よりよい日野町 つくります！ ／